研究会 1960.6.16.

1960・6・16 於人文会館

オアシス地帯 (川喜田)

此処に取りあげるオアシス地帯というのは，北でステップ地帯に限られ，西は西欧の冷温帯森林地帯に接し，東は満州の冷温帯森林地帯及びそれ以南の森林地帯に接しているユーラシアから北アフリクにまたがる大乾燥地帯である。熱帯森林地帯とも接している部分がある。即ちインド及び，サハラ以南赤道降雨林地帯の間の地方がそれである。そしてオアシス地帯とこれらの隣接地帯との相互交渉や，推移帯の果たした役割は国家の生態学的把握にきわめて重要かと思われる。しかし乍ら，その考察に移る前にまずオアシス地帯それ自身のもつ性格をはっきりさせておきたい。

オアシス地帯は国家形成の上できわめて重要な位置を占めている。しかもまた，後に述べる冷温帯及び暖温帯森林地帯の国家と，その性格類型の対照において，甚だ問題となるものを含んでいる。そしてこれに注目した諸学者の中には，オアシス地帯に成立する国家類型を，その乾燥地帯たる立地条件とのかかわりにおいて捉えようとするものも少くなかった。例えば Wittfogel，江上波夫，etc. etc. (要調査) … 学説史。

しかしながら，オアシス地帯は乾燥地帯と等しくはない。即ち，乾燥地帯の中には，オアシス地帯のほかに既に述べたステップ地帯も含まれているのである。そこで等しく乾燥地帯に属しながら，この両者の相違点を明らかにすることが重要である。そしてこれを明らかにする努力は，今日まで殆んど行われてこなかった。

オアシス地帯とステップ地帯を区別する自然的基礎は，気温の相違である。即ち，乾燥地帯の常として，水の供給が人間生活に大きな関係を有することは，この両者に共通ではある。しかしながら，水の供給如何が社会生活に及ぼす影響の深さにおいて，この両者は甚だしい程度の相違を有するのである。

乾燥地帯の生命をなす水を，まず灌漑農耕の場合と牧野の場合とに分けて考えてみる。後者は非灌漑，即ち天然降雨に依存する土地利用である。前者は直接植物生産に依存する形態であるのに反して，牧草―家畜―人間という，間接的な植物生産の利用である。牧野といえども降雨量の多少によって影響されることは云うまでもない。またステップ地帯では積雪と吹雪による家畜の被害も甚大である。そこで，遊牧民の農耕社会への周期的侵入を，気候の乾燥化に帰した説まである。

Cf. E. Huntington (　　): Pulse of Asia.

しかしながら，牧野利用の場合に比べて，農耕においては灌漑水の得られるか否かが，決定的なものとなっている。

以上の一般論に更に気温を加味して考えてみよう。冷涼なステップ地帯においても，灌漑水の得られるところにオアシスは成立する。例えばチベットがその適例である。しかし乍ら，気候の冷涼さの為に，たとえオアシスとはいえども，その土地生産力は，それほど高くはない。そしてまた現実に大オアシスを形成し得るような地形のところも，殆んどなかった。中央チベットのツァンポー川中流の如きは，その中での最大級のものである。

ころして，社会的余剰に乏しく，小規模のオアシスしか有しない，チベットにおいては，オアシスの純農耕民的生活形式と牧民の生活形式とのはっきりした分離が行われないままにとどまっている。即ち，オアシスの定住村落に住むチベット人といえども彼らは牧畜を兼営する農民であり，農耕民というより農牧民といった方が適切である。

これと対照するとき，温暖ないし，暑熱のオアシス地帯においては，オアシスの土地生産力は非常に高まる。従って，周囲の砂漠状の牧野の土地生産力との間には，判然たる差異が生ずるのである。

このような背景のもとに，オアシス地帯にはオアシス農民と，砂漠の牧民という，二つの明確に分かたれた生活形式がモザイックに混在することとなった。これをオアシス地帯発展の第1段階と見よう。しかしこの生活形式の分化は，単に並列的なモザイックにはとどまらず，その後のオアシス地帯の発展に決定的な出発点を与えることになった。即ち，オアシス農民社会と，それをとりまく遊牧民社会との間に，一種のダイナミックな生態学的交渉が生じた。その相互交渉の結果，この両者を包含するオアシス地帯全体の次のステップ，即ち都市文化を含む段階が生じた。これを第2段階と見よう。

此の第2段階を招来したメカニズムをもっとはっきり分析したい。

1. オアシス農民と牧民との交易。最も初期から起こっただろう。
2. 牧畜よりも農耕の方が土地生産力が高い。
3. 同じ農耕地でも，天水農耕地より灌漑農耕地の方が土地生産力が高い。
4. この土地生産力の高さを背景として，オアシス農民の労働生産力は，天水農耕民よりも牧民よりも高い。
   [注意] 土地生産力の高さがそのまま労働生産力の高さにならないことを注意せよ。
5. 労働生産力の高いことは，即ちオアシスには農耕生産から解放され得る人々の%が高いことを意味する。
6. しかしこれだけでは，オアシスに都市的な性格を生みだす理由として充分ではない。即ちオアシスの土地生産力の高いために人口密度が高くなることを注意せねばならない。何故ならこうして人々が近距離に居住する為に農耕労働から解放された人々が，都市を作って生産及び流通の共同と分業化をはかることができた。都市を作らないと共同と分業化は非能率になる。しかし一方，都市を作れば，これらの都市民を養うに足りる農牧生産物が必要である。これは交通手段と道路の貧弱な時代には，オアシスにしてなし得たことである。
7. 他方オアシス周囲の牧民地域には，これと反対の事情が存した。初期の天水農耕地も同様の傾向があったろう。特に移動放牧をせねばならない牧民地域では，軽量な財貨しか運べないから当然都市は成立せず，都市的製造販売業は，自給でなければ移動商人や旅工芸人に供給されるにとどまる。
8. 以上のコントラストの結果，ここにオアシスと周辺牧畜地域とのecological intercourseは更に強まる。即ち経済的には，オアシスの都市は単にオアシスのsocial surplusを背景とするのみならず，周辺の牧畜地域をもhinterlandとするため，ますます繁栄をきわめる。
9. しかしながら都市―農耕的オアシスと周辺牧地とのecological intercourseは，単にeconomical

Kyoto University

1960. 6. 16.

なそれだけではないように思われる。即ち socio-political, socio-religious なそれもあったと思われ
これらすべてを一括して, socio-cultural といってもよいかもしれない。

10. その一例として、次のような socio-political な事情も考えられる。即ちオアシスは文化的には高いが
その富さは分業と階級分化を基礎に保たれる。これが永く持続するとオアシス社会は socio-cultural
segments の精末細工的構造と化する。これは慣習の原理に立ってできあがったものである。そこで合理
主義的な統制の原理に欠乏性を感じてくる。Wittfogel によれば: 灌漑機構を維持する必要性が合
理主義的な統制の原理をオアシス社会に常に要請し, 統治階級の存在理由を支えているという。しかしこの
ような社会機構全体が常に慣習化する可能性を含んでいる。こうしてオアシス社会それ自体は, 老化しようとする。

11. ところが文化的に低い周辺地域は, 他面このような老化現象を免かれている。そこでオアシス社会を征服し, これに若々
しい政治的エネルギーを注ぎこむ。合理主義的な統制の原理は再び復活する。

12. 以上のような 1. オアシスとその周辺との eco-system を, 『単一オアシス eco-system』と名づけよう。この
ような. eco-system の2つの部分であるオアシスと周辺牧地との interaction はこうして economical
のみならず, political, religious etc. の諸側面を含む。しかもそれらの諸側面がただ単に並列して
存するのでなく, その間にエネルギーの転換法則のようなものがあるかの如くである。例えば文化はオアシスから周辺
地域に流れ, そのかわりに政治的能力は周辺牧民がオアシスに与えたという=== が如きものである。経済的
エネルギーが政治的エネルギーと交換されたり転換されたりするような事情があるかにもみえる。

13. かような interaction のもとに, この eco-system 全体を覆う共同社会的構造が発展していって, 遂に
発展の極, 単一オアシス eco-system の段階は崩壊し, 『多数オアシス eco-system』に移ると思われるが,
その前に以上のようなメカニズムの説明に, ひとつの修訂を加えたい。

14. 単一オアシス eco-system の成立には土地生産力の富い小地域と, それをとりまく, 土地生産力の低い大地
域とが一対として存在することが最も重要な一因であった。そしてこの両者の間に polarization と inter-
action の進行することを認めようとするものであった。それではこのような一対の地域があれば, あえてオアシス
と乾燥牧地でなくても, 類似の現象が起るであろうか。

15. その一例としてアッサム＝ヒマラヤのスバンシリ渓谷における, Apa Tani 族と Dafla 族との関係が注目される。
これは極めて未開初期的な姿において, しかもタイプを同じくする。

Dafla の人質略奪。

16. 第2の例として Nepal と Pahar の関係。Nepal Valley では温和で土地が肥えていて, oasis における都
市に相当するものができた。それをとり囲む山地 (Pahar) 地帯とは判然と差がついてそれが一対をなしている。
そして Nepal の住人は文化が富いが文弱, Pahar は文化は低いが, 少くとも2回は周囲から Nepal Valley
にせめのぼって, 君臨したことがある。これはたしかに一つの focus とその周囲との関係が economical で
なく ecological interaction をもっといえる例である。

単一オアシス eco-system → 多数オアシス eco-system への移行にはいくつかの経路といくつかの要因が考えられ
る。以下問題点を列挙すると次の通り。

1. オアシスのサイズの問題。
一方で人工灌漑の社会的用発能力を考える要があり, (ステップ地帯のチベットでは, 今なお小河川のコントロール
の段階。) 他方でサイズの自然的制約がある。社会文化の発展段階によって optimum size があったと
考えた方がよかろう。
2. サイズを異にする隣接する数オアシス社会の間の dominancy の問題。
大オアシスが小オアシスを従属させていったとする可能性。
3. とはいえ, 単一オアシス eco-system には, 大体の optimum size があり, これがひとつの様式化
として成熟し, 固定化する。遂に強固な共同体と化する。都市国家時代。
4. 都市国家間の抗争。
これが慣習の原理を基とし, 歴史的生成物として共同体化していること。即ち全成員を城壁中に收容する。シ
ムボルとして, 都市国家それ自体を偶像的に神格化する。
5. 都市国家間の抗争は共倒れと化し, 次の段階即ち Toynbee の世界国家は, もはや都市国家の理念とは
全く異る理念をもとに出発する。即ち共同体的精神ではなく, 帝国的精神の国家が始まり, 慣習の原理に
代って統制の原理が登場し, 特殊の論理でなく, 普遍の論理が貫く国家となる。体制の上では皇帝と
官僚群による法理的統治国家となる。壮大な土木工事と corvée の体制。

— 以上. はなしの記録 —
— discussion は時間ギレで割愛. — Wazaki

Kyoto University

○社会つづき

Ima　それから、もう一つ、さっき僕がお聞きしたんだけど、アノ、まだそれがよく分りませんが、あっちの方、西アジア全体で、こういう都市国家が出来たが、そういう耕作地になってる以外の土地がありますネー？そんなういって、砂漠でなくて、草が生えていて、牧畜が出来る、そういう所に遊牧民というのが、相当ゴロゴロ集っていたんじゃなかろうかという気がするんですが……。で、そういう奴と、都市国家とのなんか交渉というものはなかったでしょうが？

Yam　アノネ、遊牧民はあまり出て来ないんですけどね、アノ、ティグリス・ユーフラテスのこっち側、ラプラス山脈、アノ、このラプラス山脈の谷間に住んでいる人間がおって、これがしょっちゅう攻め込んで来た。というのは、かなり古くからあるようです。

Ima　それは、つまり、遊牧民かも分らんのですか？

Yam　遊牧民じゃないと思います、ハー

Yan　農耕ですが、谷間に住んでいる

Yam　谷間がありますからね、

Yan　そうするとしょうかんざいの農耕民

Yam　ハー、よく分りません

Ima　しかし梅棹がそれをどう考えるか、つまりね、遊牧民が荒れるということは別に占領するというほどの大それた考えかなくて、略奪して又、サーと帰るんだったら、羊みたいにのろいのがおって、それをとって逃げていくというわけにいかんでしょう。やっぱりそれは馬みたいなものがあって、はじめて遊牧民があばれられるのであって、そうでなかったらそういう遊牧民は活発な動きは出来んでしょう？牛みたいなもんじゃ、それで、ラクダやったらどうですか？

Yan　馬とラクダ

Ima　ラクダやったらあばれられる

Iig　問題はラクダ、どっちか決めんことには、おおいにランリタリスティック

Ima　なものは出てこないな

Iig　それは1500年でしたね？

Yan　で、この間、岩塚先生がお話になりました時に、ラクダ、つまり、アラビアの話がありました。私は実は不満があったんですけども、とにかく、ハビロンオー王朝の背景、26人を考えてもいいのではないかと思います。これは仮説なんですけども

Ima　それはラダですナァー？ママですか？ママ入ってますか？その時

Yam　サァー、それが分らないんですけど、マー、ラクダの方が考えられるんじゃないでしょうか、ただ、あの、それよりもずっと前に、B.C. 2300年頃にアッカード王朝がはじめて出来たわけですけど、そのアッカド王朝も、ハビロンオー王朝が出て来たと同じように、こっちの方、西の方から出て来たわけですけど、これが、アノ、ろをはじめて、ケイトシの弓兵を使って勝ったわけですが、その場合、ママに、何かものに乗っているという絵は出て来ませんで、歩いております。それで、考えられますのは、やっぱり上へ、北へ上流へ入ってきた、川を下るんだと。それが、川を下るということが非常に大事なハビロンオー王朝っていうと、いつ頃ですか？

Iig　B.C. 1700年前後200年位……

Yam　そうすると、ママは1800年……

Iig　ハビロンオー王朝を織したカッシートの時代です、ハイ、

Yam　それで、さっきの遊牧民がラクダに乗ってたというのは考えられることですけどね、

Ume　ハイ、

Yam　そういう説話がありませんナア……

Ume　ありません、ハイ、

Yam　が？僕はやっぱりそれは考えていいと思うね

Ume　domestication の度合いでしょ、

Iig　アラビアは、たしか　　を横ぎる時に、ラクダにのるでしょう？ラクダが出てきて、ビックリして

Phi　それまで、しろなんだわけ。

Yam　それで、ラクダの騎兵がきて勝ったんですがらね、

Phi　そうすると、マー、やっぱり、西アジアに関する限りは、ソノ、こういう農耕民、定着民が出来る前に、すでに遊牧民があったという考えは、あまりに成り立ちそうにありませんか？どうですか、Umesaoさんどうですか？岩村説になります、西アジアに関する限り

Ima　ハー、ほんに僕はそう言うておるんです、岩村説は、西アジアに関してのみ成立する、それ、やはり、一つの遊牧系統のlocalな話、それだけで割切ってもうっては困る、

Ume　そうすると最尾説やな、遊牧民が自分の平地へ出て来て、そっから、つまり今迄のgathering and collectingの生活からagricultureというものに移るという考え成立たんわけ、

Ima　それは今より話が古くなるから、又別な話しなんですなァー、

Uey　古くなるけども、農耕よりも遊牧が先行してたということを、それだったらみとめんならんわけですな、

Ima　エー、

Uey　非常に古いけども、まだagricultureというものは起らないという時代ですなー、

Ima　イエ、彼のは何もこの辺でもなくていいわけでしょう

Uey　　西アジアと考えている

Ima　アフリカでもいいんじゃない？

Uey　マ、アフリカとはいいませんな、彼は今、小麦の方では西アジアが原産地の

Ima　ハ、ハー、

Ima　しかし、今の話では小麦の方では、大麦の方がdominantであるということになって、大麦の原産地は西アジアとなるわけです、

Ume　遊牧の問題でもやっぱり残っていることがあって、つまりそういう騎馬遊牧民ですね。戦闘的騎馬遊牧民というのは成立せーへんけど、そんな場合でも羊遊牧民はやっぱりあり得ると思うんです。

o　ナルホド

Ume　そういう、歩いてる遊牧民ですね。かたって、ちっともおかしいことあらへん。そういう奴が、そういうオアシスがうしはうく横にいったり、やっぱりいいわけで、平和的に共存しているというあれは、何んぼでもあります。

Iwa　農業と両方やっているということは、十分あるんじゃないですか？農ボクという形で羊の牧畜とね。

Yam　それは都市の中で仲いている。都市の中に住んでいる農民が家畜を飼っているというのは確かなんですけどもそれではなくて、都市の外に都市と共存関係に立ちながら、牧草が生えてある時期に羊をかっているというのがあってもいいのじゃないか。といいますのは、シカアルクニクツのというのはあるんですけど、草を食べている羊の牧夫というのが出て来ない。草を食べているブタというのは出てくるんですけど（笑）　羊が出て来ませんから羊を保護しているのが別にないといかん

Iwa　都市国家の支配外に……

Ume　支配外にあり得る……都市の領域にとび込んだ羊は、何かやうんなうん羊、だから羊から区別して言わんなうんそういうように考えられる

Yam　或いは季節的にdependent relationが出来ておって、冬は都市、夏はなると外へ出るというようなことも或いはあるかもしれない。

Tan　しかし、こういう所では、おそらく牧だけが草の生えておって、で牧だけがかなり大きくやれるという所は比較的少いのとちがいますか？

Ima　牧だけやれる所の方が面積が広いですよ。

Tan　イヤ、メソポタミヤはどうでしょうか？

Ume　出来まっしゃろー。

Iig　それが冬牧　　と考えたら
都市が冬、そしてtrans humanで夏、山の上へ行ってすぐおりてきて

Ume　それはちがうと思う、transhumansの成立する条件ない

Tan　だから夏は穀物を食わすということになる。

Uey　そう、そう、夏食わす、そうでしょうね。
平原ですか？

Ume　大平原です。

Yon　小規模には成立しないですか？short distance

Ume　それはtrans humanというものでないやうな

Tan　アノー、だから穀物を食はすんです。

Ume　それは、つまり西の、ある季節的に生飼いにしたり、例えばブタ、それは遊牧なんかと全然別な系統の問題であって、日本で沢山やってますはなァー、アノー、
実はねェー、
どれぐらいの大きさがあるんですか？

Ume　こういうcaseあると思う、羊だけもった遊牧民が都市に入ってきて、その住民になることがある。牧民が基本的はじめた牧民あり、ある牧民は家畜が飼って村を作る一方ある奴は定着して、ふらふらして馬やラクダかっき……ずっと戦闘力かできて、

Yon　都市国家というもの一つだけ、都市が2つ、3つあっても~~いいと~~いいとおっしゃるんですか？そしたら僕が定義みたいなあれですけど、最初にこう地域がありますわね、川の流れている、マ、なんでもかまいません、こういうものがあるでしょう？でマー、村が出来ると、そのうちにこれが全部都市になるかどうか知りませんけど、　　図式的に考えて、そして、これとこれとの間に交渉が出来て、それで、こっちがより大きくなって、これが中心になって、それで、これ全体を都市国家と呼ぶわけなんですか？それとも、これだけを都市国家と呼ぶんですか？アノ、まず最初に地域があったと考える、こういう川があったり山があったり、それで、村ができる、これは遊牧民か何かでoriginは問はない、非常に大昔だかろうがまわない、それが神殿を中心として300m平方みたいなものがふえてくる、それが大きくなったら一つcenterができる、これとこれと交渉している、この全体を都市国家と云うのですか？

Yam　いいと思います。

（討論　又もや分裂）

Ume　羊だけをもって歩いてるという農民、そんなら何ぼでも成立つんじゃないんですか？そいつが適当な居場所に段々定着していくと　　で村をつくる、それが都市になっていく、一方定着しない奴もあるわけ、フラフラーと一方が成長し、都市になっていきよるのに、一方ではまだそういう家畜をつれて歩いてる奴がいっぱいある、それは別に戦闘的にはならない、都市とfrictionも起さない、

Ima　そしたら、そいつはセキモンですな、

Ume　無籍者ですね、しかし、それはあったかってちっともかまわん、何にも別に併存し得るわけです、交渉は別に起らない
しかしそのうちにそいつが馬という、のとラクダという非常に具合のいいものは見つけると、ガセン、遊牧民のウン発揮して

Kyoto University

いきよるわけ。そういうcaseも考えられる。そうすると、いわゆる遊牧民としての正史に残るようなものが出てくるわけです。

Iwa　で、そいつは、西アジアから起こらんわけやな？

Ume　エ、西アジアでも、それは起り得る。

Iwa　だけど、正史に残ってますか？

Ume　だから、今のハビロン第一王朝の背景に出てくる遊牧民というのが、そういう奴でしょ？

アー、

Ume　その段階まできて、それはラクダが何かに乗っておるですよ、

Ima　そうだから今は馬を考えてる人だけど、馬は遊牧民は使うてしませんわな？

Ume　使うていません。ラクダです。だけど、ラクダより馬の方が先やと僕は思う。ラクダは馬の乗りかえたものじゃないですか？証拠はありませんけど、

Tan　そういう場合、結局戦闘的になるまでの時期ですね、こう、牧があって、トボトボ落して行くわけです。ええとこを残していく。で、その間をフラフラしている。そういうのがゼロン出るという、落してからがゼロンまでが非常に長い、時期とします。で、その間にかなり、ここう、可耕地も多い所では、フロフロしてる奴も大分定着している。だから、農耕のところと、フロフロ地域というのは、地域的に大分離れてしまっているということは……

Ima　イヤ、それは隣り同志やってもいいと思うんです、mixしてそういう大変いい所にも村が出来るし、そうでないはみ出た所にある奴がある。

Tan　非常に小さいのがチョボチョボと

Ima　そ、ネ、少くともこれだけはいえるね、つまり農耕というのが人間にとり入れられる段階の前はgathering and collectingでしょう？それから或部分が農耕段階に入って、その、つまり農耕に不適当なところはgathering and collectingはそのままで……

Yon　現たいますが

Ima　それはつまり、西アジアにもあってもいいわけ

エー、西アジア

Ume　その場合gathering and collectingというのは一体何やってたと思います？この辺で

Yon　牧ですね、

Ume　むしろ、やっぱり牧だと思う、つまりね、gathering and collectingでやれるところは、もっと、やっぱり不的地域であって、Oのとこに出ていきよった奴は基本的には牧やと思うな、

Yon　サカナ

Tan　魚はもう一つ前、

Yon　collect

Ima　今日のはちょっと魚で、……

Tan　これは海洋文化の……

Yam　だから海洋文化……シュメール文化の起源に2つあって、北の方、山からおりて、北の山からと海から出てきた　というのはおかしいですけど、

Ume　それはありうる、

Tan　Wissmanの奴ではそれを一番最初に考えるわけですね、

Yon　さっきの隆、土地の神さまか海の神さま……

Ima　人類学者は今の貝塚が残っている、あっいうのは非常に重要視してるけどね、その魚ばっかしとってたというのは、あまりいいません、

Iwa　アメリカインディアンの　　のサケ

Ima　あれはありますけどね……

Tan　アノ、ソノ、牧のあれ、この前も出た、ギリシャの都市のまわりに植民都市がくるんですね、都市の周辺に、もう牧がズーッといっぱいあるんです。　それは、アノ、ヘロドトスの奴にちゃんと出て

Uey　ホー、

Iwa　ヘロドトスかアメリカ北岸でも、牧が、あの場合は商業と両方やってるんでしょ？地中海と

Tan　13C、10世紀でる

Iiz　ギリシャの場合、牧民がちょっかい出しますか？

Tan　ちょっかいとは

Tan　その記述はですね、つまり牧の酋長というのかな、それのムスコが、アノ、ギリシャ植民都市のなんかかなり遠い貴族のおくさんと牧のあれが嫁った、で、そりゃ俺がその母親のいわばmodernな教育を受けた。牧的生活がきらいで、きらいでかなわん、いうのである時こっそりぬけ出してギリシャの植民都市に入ってしまった、で、服も早速着替えて入って、そこでフロフロして生活した、

Ume　タラスワンリバのうらがえしや、

Tan　でもう、ワシャ帰るの嫌だというんです、したら、こっちの牧の方がおこって、おやじがそれでせめ入ろうとした。でそのムスコがつかまえられるのが嫌で別の牧の所へ逃げこんだ、オジさんか何か。それで、ケンカになって、ボクとボクが戦争をはじめて、そういう話があるんです、

Ume　その時は乗馬ですか、ボクは？

Tan　乗馬です、スキタイ

Ima　その不、岩村さんやらに云わすとネ、ソノ、ボクは非常に古いとしても、すでに家畜がおると、そやから、ボクの方がノウより古いということは云えんわけです。しかし、それやったら、ノウの方が早いことも云えへんわけ。そやからノウの方が早いということを云おうと思うたら家畜のないノウだけの遺跡が発掘されなんだらいかん。それはまだないわけですわ。

Kyoto University

Yam　ないですね。もう、とにかく……
Ume　その論理は完全に逆転してるんやもん
Ima　そやからね。それやったらノウの方が古いという代りにボクの方が古いと云ってもいい。まったく。
Ume　そうなんですよ。ボクは成り立ちうるんだから、家畜がある限り。しかしノウは成り立たへんな家畜だけやっても。逆に家畜なしの。そういう風にすると逆が出てこにゃならん。そんなんありしまへんやろ？
Ima　そいでは、あの辺りの一番古いところは、牛でもおればまだ野生の牛と変らんじゃろうということもえうんだけど
Yam　その、ノウというのはミレットを含めて言ってるんですか？
Ima　それはもちろんそうです。しかしミレットを作っていて、麦を作っていなんだというのもまだ発見されていないわけだね？西アジアに関する限り。
Ume　ま、アノネ、かなりいきわたっている場合は家畜だけ食えないということがある。と思うんです。ただそれはやはり誤解なんで完全に僕は食えるんじゃないか？家畜だけで。と思うんだけどね。逆につまり百姓だけで食えるかというと非常に困難でしょう。日本の百姓は大体そやけど。実際問題として、あっいうとこ氷溜りあたりで……

Ume　モヤコなうモヤコとして考えたらジンギスカンの頃というのはちがう
Siz　ラクダが入るとかの頃に自己完結性を強めますか？という面で
Ume　むしろラクダが入ってきた時の変化は地域なものです。つまり馬遊牧民が利用できなかった土地がラクダ遊牧民で完全に利用され？
Siz　その、ステップにおける牧民が農耕社会と縁を切ったということができる。完全に独立できるという。
Ume　それは馬とラクダはsubstitution
Yam　馬は今アラビア馬というのがあるんですが、あれば結局よそから来た？
Siz　エー、きた。
　　ハー
Ume　そりゃ大体ちょっとそうしか考えられない。

Kyoto University

Sas　そりゃまあはじめからgatheringですな。これが非常にEuropeの例によると、これが問題になるんですね。で、あの、これには　まあ問題はないと思うんです。採集から農学へ、そのまま農業へいって、東南アジアなんかの場合でも、農業でずっといきよった。農学でザーッといきよったと。　日本でもこの系統でないかと仮に考えられる。もちろん途中でとまる奴は　アマゾンかコンゴでは、この農　は、原則として　　にはいかない。　ただ、forestでやるのは大きいのでないか。　これやっぱし頭に残っているのは　　とのイセキですな。

Yon　これでやったらどうですか。steppeの中でhuntingやっているの

Sas　ブラックフートみたいな奴ですね

Wag　それはむしろenvironmentのわけだから同じになるんですね

Sas　分散ですな　しかし、どちらかな　パーッ　集中するときもありますな。いづみのすみとか　　とかいう国には、㊦極度な分散と、若干の集中と交替しているんではないですか？　しかし、seasonalyに大きく変りますわね。非常に。

。　こんなもんで、tropical forestで採取をやっている奴というのは　ハーボルトクー(ボドフード)みたいな奴ではないですか

Wag　エッ、やっぱり分散でしょうね、これ。

Sas　ボルクンドみたいなやつは分散でしょうね

Iwa　Temperate Forestは、まあ要するに集中の傾向ではないでしょうか。　森の中のですね

Sas　僕もそう思いますね、どこらでどういう段階でそう云うのですか

Iwa　そのサイズですか？

Sas　イエ～、T史的には。

Wag　T史的でしょうね。　今の傾向は

Iwa　T史的ですか、だから　ちょっと考えたいのですが、現状から。

Sas　現状って　どんな奴ですか？　たとえば。具体的にはtemperate forestの奴、今は　具体的には。　あれは具体的にはどういうような奴なんです？

Iwa　だから、それはヨーロッパになってしまって国が進んでいるでしょう。だからちょっと具合が悪いんですよ、具体例というのは。つまり国家の部分になっているわけですよね

Sas　具体例は－

Iwa　だから、やっぱりそうなるとT史的には　旧石器時代かなにかをとらんといかんことになってきますな

Sas　それで一体その、そや　フラーのこれなんかでごっつい…long houseありますね

Iwa　ハア

Sas　スイスの　　なんかこのへんですかて　もっと……　いづれにしても

Iwa　そう～　そういうprincipleの組合せを考えたらどうかということなんですけどね

Yon　これは、だからこっちがのっかってこない前でしょう。

Sas　しかし、チュウセキが出てくれば、文化が出てくるという……

。　これはコリックスの方ですか、それとも……

。　それでね、僕は思うんですけど、tropical Forestの分散ね、それは焼畑段階になってくると、割合にもう集中の傾向ですよね

Iwa　集中ですね

Sas　だから、それは極端に集中の傾向という奴……、まセコンドみたいな奴は別として集中の傾向といわれんのではないでしょうか？　そんなにsorivl surplusが沢山出来る前に……。岩田さんのとこは分散ですか？　F. AF.

Iwa　ハー

Sas　ちょっと待って下さいよ、なんで岩田さんのとこは、分散なんです？

Iwa　分散というのは……

Sas　たとえばね…

Wag　孤立というような考え方…

Sas　temperateも集積ですからね、tropical forestも集積じゃないですか？　孤立ですか？

Iwa　ま、孤立です

Sas　孤立だったら、そこへ結びついていくと思うな。そしたら、今米山さん、この配置で書いていただいたのも…分散した奴がやっ集中して孤立化していますわね、long houseみたいな奴をでは。岩田さん　ああいうものを念[illegible]においたらいいのでしょ。

Iwa　たとえば、あのlong houseの代りにカメルーンあたりのね　同じ部族でも分散的になっている、いりまじっていますわね、今でもそうなんですよね。

。　ハア～　そうするとdifferentiation

Wag　一つ～もとってみれば孤立ということですね

Iwa　その辺がもうひとつ……　外側が……

Wag　内容はそうでしたね

Yon　分裂生…　　で、ここはどういうてすか

Yon　中国の根本的様式としてなのですね

Sas　根本的なと云うのは？

Yon　basicなやつですか　ないんです

Sas　つまり　みんなあれになっちゃった

Yon　全部　に？

Sas　けど、ちょっとまって下さいよ、米山さん　何かあのそうかあれやっているやつ　ゴニアン

Yon　それからパタゴニアか　それから

Sas　結局、それは二段階考えないといかんのでしょうて　え、いやSewangみたいな奴と、たとえばDayakならDayakみたいな奴と。

。　黒板に板書

Kyoto University

Wag　BF的方は.
Sas　ま. BF的方ですか? これforestの奴は何やろか.; 沢山ありますな. 沢山ありますね。 エスキモーはいかん. これはツンドラにで
　てしもうとるな
Wag　ウン
Sas　ツンドラにでてしもうた奴も考えにゃならんのやろか? 環境いうことから Pなんてことは……
Iwa　あの単層とこの　のさかいに Sedentaryとかね. そういうあれを入れたらどうですかね.
Sas　ハア
Iwa　単層の場合は. 移動的なのが多いわけですよな. エー
Sas　ヤリソコダ Sedentaryなのか nomadicなんかどこまでいったのか.
Iwa　だから. translumanceみたいなのもありますけどね. それはその大体 何処とも知れずというのはないわけでして……
Sas　BFというのは何でしょう?
。　そうでしょう
Iwa　それから これですね. その下は温帯の方ですね. ヨーロッパでもなんでもよい.
Sas　ヨーロッパの新石器時代ですか?
Iwa　それじゃこうでしょ
Sas　ウワー こんなん誰か考えてくれはりゃへんかな. しかし ブンセンというのは確か…… バンドをもってたと思うな.
　統合が…… ちょっと岩田さん. 統合とか分化という事を説明していただけませんか?
Iwa　そのね. 僕は あのなんというか. 環境の Enviornamental limitationとか そういうことで. 地域が
　社会に及ぼすごく一般的な作用を考えて. それだから ステップの牧畜をしておった牧畜民は. 環境のおもむく所に従
　えば 非常に広く分散してしまう傾向がある. そういうことをまず 社会が成立せぬから、血縁組織とか 社会体制と
　か integrationする作用を人間がする ということです。
Sas　ハイどうも. 分化の方は?
Iwa　分化というのは. 大体オアシス地帯というものは. 周辺の乾燥地帯からの. いろんな文化のおこぼれが集まってきて. 社会自体
　も集まってきておる. そしてそこに集積するわけです. いろんな culture が.
Wag　しかし. そういうなのは つまり次のがなかったら 消えてしまうということもいえるんではないかな. 前段階におけるそういう
　奴は.
Iwa　それからもう一つ. 狩の前に food gatheringとか そういうのを入れたらいいでしょ.
Sas　いや～. この狩はな 狩は hunting lineもこえてなった奴.
Iwa　なった奴でしょう
Sas　サルから人間になって狩だから Originがかり
　そうすると その混乱を救うためには ちがった血縁的な原理でない原理によって 職能の分化とか 分業とか そういうので
　くぎりをつける. そしてそれを階層の分化とかね 分化による統合をかく. ま. そういう風なこと. だから あれだけ
　だと具合悪いですよ. もう少し小さい項目をあげたらいいのではないかと思う。
　しかし. とにかくああいう単層の場合は, とにかくまあ集中のあれがあるとはいえ 大体皆最後には集積と書いてあるけ
　どあれかて集積ではなくて むしろ孤立でしょう。 だから一般的にいえば みな統合原理が働きこそすれ 分化原理は
　非常に働きにくいのではないかね。 一般論だけど.
Iwa　だから あれじゃないんですか. 単層と考える場合は. 大体現在生きているものをイメージに浮べてネ 単層社会というものを考える
　ことが多いと思うんですけど. そういうものは次の重層に進まないのが多いのが. 非常にこう patternというものがはっきり
　定まっているのではないかと思う。 だからそれは 分化という風なものより ちがった言葉の方が……。
Sas　えっ. ともかく 統合原理の方が強く働くのではないでしょうかね.
Iwa　統合原理というか そういう意味の differantiationが働くのではないでしょうか エラブレーション
Sas　たとえば オーストラリアンなんかどっちです? 統合原理したら一体何になるでしょうて オーストラリアンの ホルドとか. あれは
　一体 社会というものを特色づけてあのようにかいたら 何になるでしょうか?
。　としてはどっちです?
。　いえ. まあ一応　に入っている。 社会の段階としては?
Iwa　オーストラリアンのあの段範囲ですね. ホルドならホルドという社会の範囲内においては. 集積ということではないんでしょう
　かね.
Sas　ああいうものが ホルドに分れていて
。　だから 社会としては集合の原理とか. 統合の原理とか 何とかそういうものが働いているんではないでしょうか?
　少くとも 僕 分化の原理というのは……
Iwa　だから 集積とか分化という場合 範囲が何かということを考えないといけないですよね.
Wag　それ そうですね. どう世中とったら……
Sas　だからあの場合. これは思い付きなんだけど. 非常にfamily単位でネ 物事を害合やるような奴てね family単位で
　はなくて. もう少し大きな集団でもって動くというか 生活するということがあるのではないか と思うのですが.
Iwa　そうですね. だからおそらく 下とか0とか夫々のある程度歴史的な過程というものをモデルとして かく必要があるんですよね.
　重層でもそうじゃないでしょうか? たとえば 0のメソポタミヤでは. こういうprocessをたどったという風なことを ネ という
　風なこと…… たとえば Fのヨーロッパにすれば. ヨーロッパの中石器が集積だというけど あれもおかしい話ですな.
　ヨーロッパの集積という そうすると一体 ヨーロッパ シンセキというのはどうで どう変るのかよくわかりませんけどね……
　タキツスのゲルマニア段階というのは どっちに入るのですか? 具体的にいえば. 岩田さんの才で扱うのか. 私の才で扱えか?
Wag　なにですかて
Sas　ゲルマニアの段階…
Iwa　いきついた所でそこからこう出発するのだからね. やはり或程度だぶってもしようがないんではないでしょうか.
Sas　Tacitusのゲルマニアの段階だったらどうなるか? 話はあまり抽象的だといかんので、具体的にいってゲルマニアの段階で考

Kyoto University

えてみて，…
なるほど 集積しながら
うまいこというとるな．
しかしね，社会の統合－分化，統合－孤立でね，やっぱりちょっと原理として孤立と
いうのはむしろ集積のかわりに孤立というのは解りますけどね．社会の統合の原理
とか，分化の原理というのは分りますが，孤立の原理というのはどういうんです？
いま云われたように，オアシスの場合ではとか，スナップでもひろがっていくとか
Iwa サイズとはいうものは必要なんでしょうな
Yone あの integration の，どのサイズで integrate したものが，孤立と分化
するか
いま，おっしゃることの何処で，あの　　，集積なんかをね，
ハア～
。 両方取扱わないといけないというんですがね，それはあの，こんな風に考え
たらどうでしょうか？
- ○と下がり こんなかっこうになる だけゆきづまって ふんづまりで それでこの
辺が文明というもの これが東西交渉…
それでこの辺が 新石器などつながるものによっている両方 こちらは
さいもんが…のこってきたものだけ
Waz それはいいな，えいけど それはごっつはっきりしすぎて最初の方が ちょっと
困るかもしれん。
Sasa まあ重複してもかまわんでしょう？ それはよくありますけど……
Yone だから逆に僕はこういうゆきづまりの社会を説明するのに，現在のあれを使っ
ちゃってかまわんと思うんですが，どうでしょうか？
Sasa ところがね 問題が今我々の data はいきづまりの社会の data でしょう
いきづまりの社会のデータしか無いわけですね。で，まいきづまりでない
奴といったら，ヨーロッパのどこ
。 もうみな国をふくわけやなし これ，
Yone
こんどは重層の分類をしていくのですけど，重層の分類ということを考えた
場合 あのなんというか Convergence というものが考えられるなと思う
そういうものが集ってきて 文明というものがね 集積される
だから説明しやすくなると思う。
Yone 説明の原理としては 単層ではここまで拡がる 単層の場合でいうとこ
まで，それから後，分類しているのは ここに
Sasa そりゃ－非常にえいと思います。それはそうですね。
Jwa どうもね 分散統合とか あいう表現が非常に対比的なんですよね
それでも分散とくっつくよし 統合ということも云えるわけです
それで非常に異合わるいですな 僕は考えの Process から云うと更にその
いろいろな地域の調査にいかないからなんですけど また今の，たとえば
Stepe の牧畜社会というようなものは，なんというか symbolic して云えば
千夜夕マネギみたいに皮が一つずつ同じこの clan から clan と考えても
いいですけど中心の clan が一つ一つ別れていくと。それから それに他の
ものが，例えば カジヤとか或は商人とかいうそんなものが結びついていく
そして一つの体制を作る
だから別れてゆくところから見ると分散なんですよね。それが一つの血縁と
いうもので結びついていると云う点から云うと統合である。こっちの方は
ま，堂だるまの堂だるま式に次から次えと方々から入ってくるものが culture
の年輪のように集ってくる。で それが一つの社会だとすると その中の一つの
これが A なら A という Community である これが B という Community
であると云うことになるのですな
だから A. B Community というものを含めて総秩序を作る為には
clan とかそういうものではいかないので 階層とか それから或は一人一人
に分解する city そう云うものを作る必要があるのではないか なんかね
そう云う事を考えないんです
ところがうまい言葉が見つからないんですよ
Sasa Sasa しかし 単層 の場合はむしろ上の方でしたね 下の方が例で 単層でそう
いうものが出てくる。
Jwa だからね，だけどね さっきのオーストラリヤのゴルドなんかでしたらね やはり
一つの社会集団というもの，まわりに分散的なものとかいろんなものが
こう結びついているのではないか
Sasa もしね，ところがその云い物によっては さっき牧畜の所で血縁のなん
とかと云うものが中心に こういう風にあるんだと，こう云うい方も出来
るんですね

Kyoto University

Iwa　その伝統を云うわけですか？
Sasa　つまりオーストラリアのあいつを そう云う年輪式のやつ，A.B.C と云う
Community かないわけでしょう。中に それがあれば，僕は集積であり
合化原理と云うものを考えてもいいんですけどね そう云う風に A.B.C
と云う ま，お土にズーとやって来てバラね そいつがよく見ると中に
A.B. C があるとよろしいんですが あれはないわけですね ないと云い
きれるかどうかは勿論疑問だけど 四分割にしたり八分割にしたり
しかし それはちょっと A.B. C のコミュニティーとわけがちがうと思う。
Iwa　だから それは重層の場合で考える事が単層の場合では又別の
モデルがあると云う様に思うのですが，
Sasa　一体その上の王道義ですね 王道義が仮に重層になっても それが
ジンギスカン程度の重層になっても王党ですか？
Iwa　ジンギスカン程度と云うことになっても やっぱり ….
Sasa　と云いますのはね，もしてその王党の original の例から広ずしも
牧畜なったらすぐ重層になるわけではないでしょう？
Iwa　そうです
。　ね 単層の牧畜っていうのは扶もいるわけですね，そいつが王道義型
であってね
Iwa　そう そう．
Sasa　そいつが王党型であってね，
Iwa　ジンギスカン帝国なんかになると それぞれの clan の中で上下が出来
てくるわけですね
Sasa　え，むしろ王道義が年輪の方へ移動しませんか？
Iwa　そうだろうか
Sasa　ズーと統括一貫 ジンギスカン帝国となってもやっぱり王道義ですか？
Iwa　それぞれの clan と云うもの，独立性はかなり力は強いものです。
Sasa　ハア ハア
。　たべその国で grade が出来てくるのでないでしょうか
そこをなんとかキルヒホッフのあいつで云うと そのクランと云うのから
ユニカルクランと云うのに移る。

Kyoto University

Iwa　狩猟型の五ネギとこちらの採集型のゐネギと違う，そう云う事が云えるのではないでしょうか？そう云う方のが皆こいに集ってくる。

Sasa　そこで話しが非常に見事にいくのですが狩猟型のゐネギ hunting 型のゐネギと gathering 型のゐネギとかってが違うんでしょうかね，しかしちがうと見うんだが そう云う親イモとるイモと云うような事では。

Yone　方のどうなんでしょう．ゐネギと云うものをまず考えて王党の　　とに環境条件があると考えるんですが、ゐネギともう二つの何かを考えて

Iwa　そうですね

Yone　ちがってくる

Iwa　王党と云うのはこうなっているわけだからね。こうなっているのと，これがこう別れていくのといろいろ方るわけですね。だから clan から clan 毎の相互の距離かと云うことでも区別がつくわけでしょうな何かいい言葉がないかと見っているんですが、どうもそれがほかの言葉にするとぎらわしくなるんで困っているんです。

Sasa　しかし狩猟のゐネギと採集のゐネギは。まゐネギ同志として分類してみてそれでは何処がちがうんだろうか？ないしないちいちの例を一体核はなんでしお まあ牧蓄の場所はこいにあるものがね ともかくは血縁原現 clan かなんかそう云うものでしたね。もっと極端に云えば父系の clan か何かでしたね

Iwa　父系のクランとか血縁原現とか例えば男性原現とかそういうもの

Sasa　そういうものですね

Iwa　エッ

Sasa　これはまあ牧蓄の場所ははっきりしてます。

Iwa　そういうものによる違いはありますが，もう一つはその一つ一つのゐネギの内の一つ一つが牧蓄なら牧蓄ということで牧蓄しかしないで，商業とかなんかは他のものをその体制のなかにとり入れるという形と農耕はゐネギではないかしらんけど、農耕のようにいわゆる手工業もすれば大工もすれば火田も耕すし、商売もすると一人の人間が放面的に仕くとかそういう一つ一つの集りというものもあると見う。

Yone　ゐネギと云うものは，しかし王を考えなくてはいけないのですか？

Sasa　いやなぜ僕が王を考え出したかと云ったら、ちがいを考えるには王を考えるのがてっとり早いのではかという気がしたんです。

Yone　僕が考えてたのはゐネギ　　はなくなってね

Sasa　あるいはゐネギをずっと一つの形にしている，何かがそういう形になるんですねそれが別に核がなくても，それをまとめている。でもそれはかまわない。

Iwa　しかしいずれにしても何かそういうもの核じゃなくても一つ一つが例えばウィグルが中世ウィグルとかね 九つの部族が集って一つのウィグルになったとそういうことになるんですな。

Sasa　だから王党特有の味でもかまわんとしかし味にしる核にしろ何かそういうものがあるわけでしょう だからそういうその牧蓄の場所は割所そういうことが云えると見うはっきりねだから それを採集なり狩猟なり原始農耕の場所 単婚の場所ですね

Iwa　だから採集というようなことになると農に近くなっちやう

Sasa　近いですね，だから採集と農を一緒したにしてもよいと見うで一つ一つのこの部所は牧蓄の場所は clan というもの相当するけど農の場所はやっぱり村落とか要するに地域社会ということになるじゃないですか

だからその中にはいろいろなものが含まれていて、それ自体がなんというか....

Sasa　この場所わ Family の機能というのは小さいわけでしょうか？

Iwa　ファミリー．[redacted]

Sasa　Family 単位で牧蓄をやるわけですか？

Iwa　そういうことはないでしょうな そっと大きいでしょうね。

Sasa　しかし農の場所は少くとも採集とか農の場所は Family と云うんですね 原則はなから何かそう云う family principle と云う核なものがあるような気がする。そうしファミリー principle …むつかしいな。Family principle がどうなるかな

それは一般に云われているのは 女性の優越，これに対する女性の優越でしょうね

そうするとこちらは男性の優越で。

Iwa　それに Family 単位となるとやっぱり Talent が all round に農業，農業というものは非常に放面なる才能を必要とするということが

Kyoto University

んちがうように思う。英雄豪傑が出てきました。これはその豪傑
は今後は牧の方によけい出るのではないかな
Sasa で。しかしファミリー単位になると、今後はファミリーを単位にしているだけに、ファミ
リー同志がないするcommunityというものが出てきて、前に二の場合
はコミュニティーというものが
Iwa しかしファミリー単位といってもなんでしょう。その前はエジプトとかメソポタミヤ。
でもやはりclanが……。その時にファミリーがどうなっていたか分らないけど
Sasa ウンもうーっぺんね。それ、communityが出てきて当然これがスクランと
Iwa だからファミリーとクランとが両方別にあるわけだけど
その時のクランとファミリーとのアクセントのかけ方がちがうという風にでも
るのではないかな。
Sasa 千差万別でね。principleは…、たゞ相対的な問題で。ファミリー
単位でプランもあるけどファミリーにより大きなweightがかかると。
女性の何とかといいますけどそういうものは何も必ずしも女性優越的でなくて
Yone をしろ sedentarizationとか
Sasa の場合でもともかくファミリーが
Yone それとねclan原現とlineage原現のつながりというものが、これに
もう一つのどうあてはまるかね
Iwa 天ノ七んのおれ講読んでたんですけどね やっぱり下史家と云うのはclan
というもの、中から生産の上昇と共にファミリーというものが表面に出てきた
というような事を非常に云いたがる。だからファミリーが表面に出て以前
はどうだったかと云うとあまり。その状態ではファミリーの事は考えないん
ですね。
Sasa しかしdataとして――やっぱり生現在いきとるやつやけど下型でも
やっぱりfamily単位では というものは、自体はfamily単位でそして
それをカバーするものとしてcommunityがあり、clanがあるんでしょうけど
Iwa そうなんですけど その場合cultureをどこまでみとめるか。cultureを
除外してしまった場合大分ちがってくると思う。cultureなもの、ファミリー
とファミリーを結びつけるcultureとかreligiousとかそういうものが
非常に強いかもわからないですよ
それだけ見ているとファミリーがその中に埋没してしまって――
今後は生産力が上ってくると この家族が表面に出てくるということ
になる。その時は見方がちがっていると思うんです。
Sasa しかし採集というのか、採集、農業に関してはファミリーの分化性と
いうか そういうものは見ていいんではないか しかしclanが第一
義はclanが第一でその中からファミリーが出てきて、それでと云う
データは上げにくいと僕は思う。
Yone 逆に云ってサルの段階にすでにfamilyがあったということは、
はっきりすると思う。だから根幹にfamilyを考えてよいと思う。
Iwa たゞ、その場合焼畑なんかの……
そこの例えばこの北支ですね 殷代の社会というもの、単位はやはり氏族と
いうかそういうものであった。それからこの春秋戦国の時にかけて その
中から家族というものが現われてきたという事が出来ると思う。
下史的な資料は多分あちこちにあるんでしょう だからそういうのとどう
いう風な統制を……。
Sasa しかしそれは、何というかそのファミリーというのは法制上はっきりみとめら
れた限りが出てきたと云う事であって、分化しているのはお前んとこ
もおれのとこも同じだったというわけではないのではないか?
Iwa 勿論 そうではないですよ。
Sasa でフーフーやっているのはfamilyですよ
Iwa ハイ
Sasa しかし遊牧の場合はファミリーの物事のあれから云えてもどうも仁八
仁八で仁八仁八がばらばらにとそうのではないですね。
Iwa しかしテントが家族毎では
Yone できたら だからファミリーですか 人間集団というもの、動物的側面と
社会の動物的側面を猿の段階で全部説明してもらって、そうすると
その混乱を救う為には、違った組織的な原現でない原現によって転能の
分化とか分業とか、そういうものでくぎりをつける。そしてそれを階層の分
化とかね 分化による統元をかく、ま、そういう風なこと。
だからあれだけだと異元思いですよ。もう少し小さい項目を上げたら
いいのではないかと思う。
Sasa しかし、ともかくあいう単層の場合は、とにかくまあ集中のあれが

Kyoto University

あるとはいえ、大体みな最後には集積と書いてあるけど、あれかて集積ではなくて、むしろ孤立でしょう。だから一般的に云えば、みな統伍原現が仇をこそすれ、分化原現は非常に仇をしにくいのではないかな 一般論だけど。

Iwa だからあれじゃないんですか、単層と考える場伍は大体現在生きているものをイメージに浮べてね 単層社会というものを考える事が多いと思うんですけどそういうものは次の段層に進まないのが多いのか、非常にこうhotelというものか、はっきり定まっているのではないかと思う。だからそれは分化という風なものよりちがった言葉の方か……。

Sasa えい、ともかく統伍原現の方が強く仇くのではないでしょうかね。

Iwa 統伍原現というかそういう意味のdifferentiationが仇くのではないでしょうか 立ラブレーション

Sasa 例えばオーストラリアンなんかどっちです？ 統伍原現したら一体何になるでしょう？ オーストラリアンのホルドとか、あれは一体社会というものを特色づけてあのようにかいたら何になるでしょうか？

一 としてはどっちです？

いえ、まあ一応 に入っている。社会の段階としては？。

Iwa オーストラリアンのあの範囲でね ホルドならホルドという社会の範囲内に於ては集積というコトではないんでしょうかね。

Sasa あいうものがホルドに分れていて だから社会としては集伍の原現とか、統伍の原現とか、何かそういうものが仇いているんではないでしょうか？

少くとも僕 分化の原現というのは……

Iwa だから集積とか分化という場伍範囲が何かということを考えないといけないでちよね。

Waz それそうでちね どうせ中とったら……

Sasa だからあの場伍これは見い付きなんだけど、非常にfamily単位でね物事を創伍やるような奴ってね family単位ではなくてもう少し、大きな集団でもって動くというか生活するという事があるのではないかと思うんですが。？

Iwa そうですね だからおそらくTとかOとか夫々のある程度了史的な過程というものをモデルとしてかく必要があるんでちよね 全層でもそうじゃないでしょうか？

例えばOのメソポタミヤでは、こういうprocessをたどったという風なコトを示。 ヨーロッパルすればヨーロッパの中石器が集積だというけどこれもおかしい話しでちな。ヨーロッパの集積というそうすると一体ヨーロッパのシンセキというのはどこで、どう変るのかよく分りませんけどね タキツスのゲルマニア段階というのはどっちに入るのでちか？ 呉体的に云えば、光田さんの方で扱うのか、私の方で扱うのか？

Waz 何でちか？

Sasa ゲルマニアの段階……

Iwa いきついた所でそこから云々も発するのだからね、やっぱり或程度だぶってもしょうがないんではないでしょうか。

Sasa Tacitusゲルマニアの段階だったらどうなるか？
話はあまり抽象的だといかんので呉体的に云って